

# 目次

## 序章 日本労働組合運動と国鉄労組

1	日本労働組合の組織概況……………	三
	i 組織概況と四つの全国組織……………	三
	ii 公企体・国鉄関係の組織概況……………	四
2	日本労働運動と国労運動の前進……………	二〇
	i 戦後直後の国労の運動……………	二二
	ii ストライキ闘争の先駆的役割……………	二三
	iii 六〇年闘争と職場闘争の伝統……………	二五
	iv 六〇年代三池から七〇年代国労へ……………	二六
	v 統一戦線の構築をめざして……………	二七

## 第一章 労働組合の組織原則とその展開

1	自然発生的な抵抗と団結……………	三〇
2	個人加入が組織原則……………	三一
3	職能別労働組合とその限界……………	三四
4	職能的利害から階級的団結へ……………	三五
5	階級的労働組合と産業別組織……………	三六
6	労働組合と国際的団結……………	三〇
7	産業別労働組合と工場委員会……………	三三
8	産業別労資協議制……………	三五
9	職場委員会「ショップ・スチニード運動」……………	三六
10	統一戦線と労働組合の統一……………	三九
11	戦後危機と国際労働運動の分裂……………	六六
12	共同決定法と労資協議制……………	六六
13	国家独占資本主義と労資協調の新しい形態……………	七三

14	統一戦線と経済民主主義・「民主的規制」	100
----	---------------------	-----

## 第二章 戦後日本労働運動の組織論的課題

1	問題意識	101
2	企業別労働組合として出発	102
3	大産業別か業種別か	103
4	総評と中産業別組織方針	104
5	産業別連合組織と共同闘争——炭労・電産のたたかい	105
6	産業別統一闘争と産業別組織化への道	106
	i 地域ぐるみ闘争と産業別統一闘争——春闘	107
	ii 鉄鋼労連、私鉄総連の統一賃金闘争	108
	iii 総評組織綱領草案——職場闘争と産業別統一闘争	109
	iv 炭労・電産・鉄鋼労連の統一闘争の敗退	110
7	「平準化」の逆用と産業別労資協議制	110

8	企業別組合の「大産業別」連合——IMF・JC	111
9	大産業別統一闘争の前進——交通・公労協統一闘争	112
10	国民春闘路線へ	113

## 第三章 職場闘争の歴史と発展

1	企業別労働組合の基本性格	114
	i 従業員一括加盟の企業別組合	115
	ii 企業別労働組合の弱点	116
	iii 克服の方向	117
2	企業別脱皮をめざす職場闘争の出現	118
	i 戦後直後の職場闘争	119
	ii 幹部闘争から大衆闘争へ	120
3	職制との対決と日経連の圧力	121
4	「組織綱領草案」と組織原則	122

i	生産性向上運動との対決……………	110
ii	組織原則と職場闘争……………	110
5	三池闘争後における職場闘争の批判・回避……………	111
i	「職場闘争至上主義」論の台頭……………	111
ii	「団交重視路線」と「抵抗路線」……………	112
6	職場闘争の否定と産業政策……………	113
7	長期抵抗路線と「不調印闘争」……………	114
8	「現場協議制」と職場団交権の確立……………	115
i	六・四ストと岡山大会……………	115
ii	職場闘争の前進と現場協議制……………	116
9	マル生・職場一点検核発闘争……………	117
10	現場協議制の現代的位罫……………	117
11	正常化路線との対決……………	118

#### 第四章 組合民主主義と職場闘争の諸形態

1	組合民主主義とはなにか……………	119
i	機関決定と民主集中制……………	119
ii	プロレタリア民主主義と政府・資本からの自主性……………	120
2	職場活動と大衆路線……………	121
i	要求の「掃りおこし」と二人一要求……………	121
ii	職場の世話役活動……………	122
iii	職場一点検核活動……………	124
3	職場団交権確立のたたかい……………	125
4	職場闘争と到達闘争……………	125
5	職場闘争と産業別統一闘争……………	126
6	生活点検闘争……………	127
7	組合青年部の組織と運動……………	128

i	「親組合」と青年部の問題	三〇六
ii	青年部運動の歴史と問題点	三〇九
iii	近代的労務管理に対決する組織運動	三二〇

## 第五章 統一戦線と労働組合

1	歴史の流れと労働者階級の勝利	三二九
2	統一戦線の歴史的教訓と現代	三三〇
3	帝国主義と反共・戦線統一	三三六
i	IMF・JCCの結成	三三六
ii	右翼的戦線統一運動と社公民路線	三三九
4	政治的統一戦線と労働運動の統一	三三九
i	闘争領域の拡大と反自民・反独占国民春闘	三四〇
ii	国労新綱領がめざす道	三四〇

次

目

## 付論 階級的労働組合の性格と任務

——マルクス・レーニンの労働組合論

1	労働組合機能論の本質	三四一
2	マルクス主義と労働組合	三四四
3	レーニンと労働組合	三四八
i	経済主義と労働組合主義批判	三四八
ii	社会変革闘争と改良主義の統一	三四九
iii	階級的労働組合と改良主義組合	三五三
iv	階級的労働組合と大衆路線	三五〇
v	客観的情勢変化と労働組合の本質	三五三
資料Ⅰ	国鉄労働組合新綱領と解説(一九七五年)	三五六
資料Ⅱ	国鉄の民主化・民主的規制	三五八